

不整地運搬車を起因物（小）とする死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	業種 （小） コード	事故 の型 コー ド	労 働 者 規 模
2022	2	10 ～ 12	事業場Aが施工する国道道路改良工事において、同社の労働者が、最大積載量1トン以上の不整地運搬車に土砂を載せ、斜度25度から30度の仮設道を下っていたところ、転倒し、そのまま、同車とともに、仮設道端から転落したものの。	030106	1	1 ～ 9
2022	5	12 ～ 14	農地の畦道の造成工事を施工中、次の施工箇所に移動するために土砂等を運ぶために使用していた不整地運搬車を別の労働者が隣接する農道を通り移動しようとしていた際、近くにいた被災者が不整地運搬車の運転を代わろうとした。運転を代わろうと被災者が不整地運搬車の前方を通過しようとした際に、不整地運搬車が前進し被災者に激突、農道に隣接する水路へ不整地運搬車ごと転落した。	030109	6	10 ～ 29
2022	7	14 ～ 16	被災者が土砂を積んだ不整地運搬車を操作し、傾斜地を下っていたところ、不整地運搬車がひっくり返り、被災者がその下敷きとなり被災したものの。	030106	2	1 ～ 9
2022	10	14 ～ 16	川右岸の支障木を伐採、搬出する工事で、被災者は最大積載量11トンの不整地運搬車を運転して高水敷を南下していたところ低水路（深さ約2.25m）に転落した。不整地運搬車の左側半分程度が低水路に水没しているのが発見された。	030107	1	30 ～ 49
2021	1	8 ～ 10	太陽光パネル設置工事において、被災者が不整地運搬車で運転中に、太陽光パネル架台間を通行するため左折したが、オーバーランのため切り替しをするために後進した際に、後方のパネル架台と不整地運搬車に被災者の	30209	7	1 ～ 9

			胸部が挟まれたもの。			
2020	3	6 ～ 8	木材搬出現場において、被災者は不整地運搬車を運転して積載した土砂を作業道上におろす作業を行っていたところ、不整地運搬車右後方を山側法面に乗り上げて横転したために運転席から投げ出されて、不整地運搬車の運転席側面の下敷きとなった。	60201	2	10 ～ 29
2020	4	10 ～ 12	アスファルトガラ等を破砕する施設内において、被災者が単独で、ホッパーやベルトコンベアの下に堆積した土砂の除去作業を行っていた。ドラグショベルで土砂をキャリヤダンプ（不整地運搬車，最大積載量990kg）に積み込んだ後、ダンプの運転席に乗車，運転して後進させていたところ、背後にあった設備の階段に激突、階段に押された運転席シートの背もたれとダンプの荷台の間に胸部を挟まれた。	10909	7	10 ～ 29
2019	5	10 ～ 12	スキー場の営業終了に伴う片付け作業において、不整地運搬車の荷台に労働者2名を乗せて移動していたところ、残雪があり坂を登ることができず滑り落ち路肩へ横転した。荷台に乗っていた労働者1名は荷台から投げ出され脳挫傷のため死亡し、運転手は左手指の粉碎骨折を負った。	140309	1	30 ～ 49
2019	8	16 ～ 18	橋梁補修工事現場において、当日の作業が終了し、クローラーダンプ（小型不整地運搬車）を橋下の工事箇所から橋上につり上げるため、当該クローラーダンプを運転して所定の位置に移動させようと後進させていたところ、土止め支保工の火打ちばりのH型鋼の下に潜り込むように進入してしまい、当該H型鋼と当該クローラーダンプの運転席の間に挟まれたもの。	30105	3	10 ～ 29
2019	10	12 ～ 14	被災者と同僚作業員は丸太搬出用の林道補修作業を行っていた。被災者は同僚がドラグショベルで積み込んだ川砂利を不整地運搬車により傷んだ林道へ運搬作業をしていたところ、5～6回目の砂利をダンプし旋回等をしているときに、林道の路肩から6.2メートル下の川に不整地運搬車ごと転落した。終業後に所在不明となっていた被災者を代表者が捜索していたところ林道脇で不整地運搬車の下敷きになっている被災者を発見した。	60201	1	1 ～ 9
			ソーラー発電所建設工事現場において、台風で崩れた法面を復旧するた			

2019	11	14 ～ 16	め、不整地運搬車で土砂を運んでいた被災者が、当該法面の上方の路肩から転落し、当該運搬車の下敷きになり死亡したもの。被災者が運転していた不整地運搬車は最大積載量990kgであった。被災者は、調査時の資料によると特別教育を受けていない。	30199	1	1 ～ 9
2019	11	16 ～ 18	農地の用水路改修工事において、用水路の基礎生コン打設のため不整地運搬車に生コンを積んで打設箇所まで運ぶ作業を行っていた被災者が、6回目の打設のため不整地運搬車を運転して生コンが積まれた3tダンプの方まで向かったが、時間が経過しても打設箇所へ生コンが運ばれてこなかったため、他の作業者が3tダンプの方に確認に行ったところ、路肩から約3.5m下に転落した不整地運搬車の下敷きになった被災者を発見した。	30199	1	10 ～ 29
2018	6	8 ～ 9	被災者は、事業場敷地内、整備工場において、不整地運搬車（最大積載荷重3.8トン）の整備を行っていた。不整地運搬車の荷台を上昇させ、荷台下から運転席のアワーメーターの修理作業をしていたところ荷台が下降し、荷台と車体にはさまれたもの。不整地運搬車の整備は、被災者のみで行っており、目撃者はおらず、荷台と車体にはさまれた状態で同僚に発見された。	11702	7	10 ～ 29
2017	4	10 ～ 11	採石場において、労働者3名で不要な土砂の掘削・搬出を行う表土剥ぎ作業を行っていた。被災者はクローラダンプ（不整地運搬車）を使用し土砂の運搬を行っていたが、土砂の排出場所である路肩から、約5メートル下の土砂集積場にクローラダンプごと転落した。	20202	1	1 ～ 9
2017	5	8 ～ 9	林道改良工事現場において、不整地運搬車を運転して残土運搬のため、作業道を積み込み場へ移動していた際、不整地運搬車を方向転換させるために路肩に寄せて走行していたところ、路肩から斜面を17m下の河川まで転落し、被災した。	30106	1	1 ～ 9
2017	6	16 ～ 17	ほ場整備に関連する区画整理及びその付帯工事において、高さ約2メートルの仮置き土砂の山の斜面で、不整地運搬車に搭載した掘削土砂を排土していたところ、不整地運搬車が傾き浮き上がりそうになった。身の危険を感じた被災者は運転席から離れようとした際につまずき、地面へ墜落し	30109	1	10 ～ 29

			た。			
2016	11	9 ～ 10	キャリアダンプ（不整地運搬車）の荷台に生コンを入れて所定の箇所に輸送後、Uターンをして、戻ろうとしたところ、誤って道路脇斜面に転落した。運転していた被災者は、キャリアダンプ（不整地運搬車）とともに斜面に転落し、死亡した。	30106	1	1 ～ 9
2016	11	10 ～ 11	林業現場において、伐木後の玉切り、枝払い等により出た端材を不整地運搬車に乗せて運搬する作業中、作業道を後進していた不整地運搬車とともに路肩から2 m転落、横転し、その弾みで根株に顔面を強打した。	60209	1	1 ～ 9
2016	11	16 ～ 17	積載荷重4 t 不整地運搬車の点検作業において、ダンプアップした荷台の下に入り、油圧ホースの点検を行っていたところ、油圧ホースが接続部から抜けて不意に降下した荷台とクローラとの間に挟まれた。	80409	7	1 ～ 9
2015	2	19 ～ 20	被災者は、不整地運搬車の荷台を上昇させ、同車の左側面から荷台下の状況を目視していたものであるが、その直後、頭部と上半身が同車の荷台と車体の間に挟まれたもの。	40301	7	1 ～ 9
2014	2	7 ～ 8	被災者は、貨物自動車の荷台で荷台上を前進する不整地運搬車の誘導を行っていた。不整地運搬車が停止した直後、運転手が所定位置に止められたかを確認するため運転席から顔を出した際、ブレーキペダルを踏んでいた右足が浮いて前進し始めた。運転手はブレーキペダルを踏もうとしたが、誤って右隣のアクセルペダルを踏んだことからさらに前進した。この結果、被災者は不整地運搬車前方と貨物自動車の鳥居部の間に胸部を挟まれた。	30107	7	30 ～ 49
2014	4	13 ～ 14	被災者は、杉の玉切り材を不整地運搬車に積載するため、不整地運搬車を造材作業箇所まで運転中、土場から81.5 m上った作業路にて、不整地運搬車が路肩から20.8 m斜面を転落。被災者は、不整地運搬車の下敷きになった。	60201	1	10 ～ 29
2014	8	13 ～ 14	不整地運搬車を移動させていたところ、操作を誤り、足場の横流し単管パイプと不整地運搬車の機体の一部に挟まれた。	30209	3	10 ～ 29

2013	12	9 ～ 10	最終処分場覆土工事において、被災者は、延長約50m、勾配約20度の通路を法面上部から施工場所まで不整地運搬車（車幅1.56m）を運転して土砂の運搬作業をしていた際、路肩から車両ごと斜面（勾配約35度）を転落した。	30199	1	10 ～ 29
2013	12	11 ～ 12	用水路の補修工事中、モルタル運搬のため、不整地運搬車（最大積載量990キログラム）の運転席に乗り、後進していたところ、後方の橋の桁下と不整地運搬車の運転席前の手すりとの間に、被災者の上半身が挟まれた。	30107	3	1 ～ 9
2012	1	9 ～ 10	発生した残土を運搬するため、運搬路上を不整地運搬車で走行中、当該機械とともに転倒し、退避しようとした被災者の上に当該機が覆い被さる状態で激突し、当該機は運搬路の側方にある排水路まで転落、被災者は運搬路上に倒れこんだ。なお、発生場所の運搬路の傾斜角度は25度であった。	30109	2	10 ～ 29
2012	7	16 ～ 17	林道専用道の新設する工事において、ドラグショベルで地山を掘削し、2台の不整地運搬車で盛土箇所まで残土を運搬する作業を行っていた。被災者は、不整地運搬車の運転に従事し、もう1台の不整地運搬車とすれ違うため、運行経路の途中にある広い幅員が確保された沢側の待機場所で待機していたところ、10m下の沢に不整地運搬車とともに転落した。なお、路肩が崩壊した形跡は見当たらない。	30106	1	10 ～ 29
2011	11	14 ～ 15	道路新設工事において、ドラグショベルで掘削した土砂を運搬するため、被災者は土砂を積んだ不整地運搬車を運転し工事用道路を下っていたところ、路肩から不整地運搬車ごと約8m下へ転落し、死亡した。	30106	1	30 ～ 49
2010	12	15 ～ 16	被災者は不整地運搬車を使用し、1人で梨園に堆肥を撒く作業を行っていたところ、運転席で梨の木の枝（背中側）と操縦装置（胸側）の間に挟まれた状態で発見された。なお不整地運搬車はエンストしており、ギアは後進に入っていた。死亡原因は圧死ではなく心臓疾患であるが、枝に衝突する前か否かは不明。	60101	3	1 ～ 9

2010	6	11 ～ 12	事業場敷地内に停めていた不整地運搬車（ハンドガイド式）を狭あいな場所 所で移動させるため、操作盤のある車体の後ろ側に被災者が立ち、当該車 両を後進させたところ、後方に駐車していたダンプトラック（最大積載量 4 t）の荷台との間で体を挟まれた。	80409	7	1 ～ 9
2009	12	15 ～ 16	不整地運搬車（最大積載荷重2.5t）で土砂（運搬していた土砂は1t未満） の運搬作業を行っていた被災者が見あたらないので同僚が捜したところ、 運行経路から2.6m下の田んぼに不整地運搬車の下敷きになっている被災 者を発見し、病院に搬送されたが死亡が確認された。なお、転落した不整 地運搬車には土砂が積載されていた。	30107	1	10 ～ 29
2009	1	16 ～ 17	被災者は、木材伐出作業現場において、杉玉切り材を積載した不整地運搬 車（最大積載重量3.5t）を運転し、伐採箇所から土場へ約800mの作業路 を下っていた。伐採箇所から約730m下った作業路（作業路の縦断勾配14 度、横断勾配6度、幅3.45m、ほぼ直線）において、不整地運搬車が路肩 から約20m斜面を転落した。被災者はその際、不整地運搬車および散乱 した杉玉切り材の下敷きになった。	60201	1	1 ～ 9
2009	12	10 ～ 11	深さ166cmの農業用水路を不整地運搬車を運転し後進していたところ、 水路底面より142cmの位置に水路をまたぎ架けられているU字溝に激突し た。	30107	3	50 ～ 99
2009	1	16 ～ 17	公園整備工事現場において森林内に遊歩道を造成中、不整地運搬車にて土 砂を造成場所に運搬し、敷きならした後、被災者が不整地運搬車を操作し ながら後進中に後方に土砂の積み込みように停めてあった小型ドラグ・ ショベルのバケット（地上1.4m付近の空中に停めてあった）と不整地運 搬車の運転席の手すり等にはさまれた。	30199	7	1 ～ 9
2009	10	11 ～ 12	地震災害復旧工事に係る土留設置工事に伴う掘削作業において、掘削した 土の搬出をするため、被災者は最大積載量4tの不整地運搬車で土積込場 行き、所定の位置で待機していた。ドラグ・ショベルで土を不整地運搬車 荷台に入れる直前に、被災者が停止位置の修正をするため不整地運搬車の 操作をしたところ、クローラの向きが斜面方向に動き、そのまま不整地運	30199	1	10 ～ 29

			搬車とともに約30m転落した。			
2009	10	8 ～ 9	林道新設工事現場において、被災者が玉石を入れる籠に敷くシートを切断する作業を幅5mの道路脇で行っていたところ、後進してきた不整地運搬車の右クローラにひかれた。	30309	7	10 ～ 29
2009	11	9 ～ 10	一般国道の災害防除工事現場において、被災者は不整地運搬車（最大積重量8t）を運転し、残土を現場脇の仮置場に運搬する作業に従事していた。不整地運搬車に残土を載せ、盛土部分の登坂路（最大勾配13度）を後進していたところ、高さ約5.4mの路肩から転落（転落箇所の勾配は50度）、後方に落下、横転したため、被災者は運転室から放り出された。	30199	1	30 ～ 49
2008	8	9 ～ 10	被災者は、林道開設工事において掘削した表土等を不整地運搬車（最大積重量4.3t）で340m離れた捨て場に運搬する作業を行っていた。同僚が何か転落するような音が聞こえたので確認したところ、不整地運搬車が林道（幅員4.3m）から約68m下の沢に転落しているのを発見した。被災者は、林道から約48m下の斜面で発見された。	30199	1	10 ～ 29
2007	5	9 ～ 10	災害復旧工事現場において、生コンクリートを不整地運搬車（最大積載荷重2.5t）に積み後退で運んでいたとき、運転者が操作を誤り作業用仮設道路の法面に乗り上げ、当該不整地運搬車が横転し、運転席横に同乗していた被災者が投げ出され、側面の法面に激突した。	30108	2	10 ～ 29
2007	5	15 ～ 16	被災者は不整地運搬車（空荷、2.2t）を運転し、川表法面より、川裏法面へ移動中、下り勾配（約30度）で車両が前向きに転倒し、その下敷きになった。	30107	1	10 ～ 29
2006	1	11 ～ 12	側溝整備等整地作業において、被災者は、長さ約11メートル・勾配23°～26°の斜面を、斜面下から斜面上へ不整地運搬車にて土砂運搬を行った後、不整地運搬車を運転しながら当該斜面を下りている時、不整地運搬車ごと前のめりに転倒し、不整地運搬車の下敷きになった。	30109	1	1 ～ 9
2005	4	16 ～ 17	災害復旧工事現場において、擁壁に使用するための栗石を不整地運搬車に積み、道路上から現場内に落とす作業を行っていたところ、当該不整地運搬車が2m下の現場内に転落し、運転していた被災者が下敷きとなった。	30199	1	1 ～ 9

2005	7	14 ～ 15	斜面上で、不整地運搬車（最大積載量990kg）の荷台を傾けて生コン(重さ600kg)をコンクリート缶に移そうとしたところ、不整地運搬車が前方方向に転落したために車から投げ出された。	30199	1	1 ～ 9
2005	9	16 ～ 17	道路改良工事現場で、測量結果等に基づき面積を中腰で計算していた被災者が後進してきた不整地運搬車に正面から激突された。	30106	6	1 ～ 9
2004	10	8 ～ 9	農地整備工事現場において測量作業を行っていたところ、被災者の左側方から後退で進行してきた不整地運搬車（最大積載量6000kg）のクローラにひかれた。	30109	7	10 ～ 29
2004	11	7 ～ 8	ほ場整備作業において、不整地運搬車を運転中、不整地運搬車と共に仮設道路から約3.5m下の仮設道路に墜落し、不整地運搬車の下敷きとなった。	30106	1	1 ～ 9
2004	10	11 ～ 12	手水鉢を据え付けるため、被災者が運転する原動機付運搬車で石を運んでいたところ、運搬車が横転し、被災者が投げ出された。	170209	2	50 ～ 99
2004	3	16 ～ 17	農業排水路の整備作業のため、排水路に小型ドラグ・ショベルと不整地運搬車を入れて水路に堆積した土を運搬中、コンクリート製の橋の下部に不整地運搬車のシートがぶつかって持ち上がり、バーハンドルに挟まれた。	30199	3	10 ～ 29
2004	9	10 ～ 11	下水道管の敷設のため、不整地運搬車（最大積載荷重0.8 t）に掘削土砂を積み、運転席から降りながら運転レバーを操作し後進運転していたところ、駐車してあった貨物自動車と不整地運搬車の間に挟まれた。	30110	6	30 ～ 49
2004	4	9 ～ 10	不整地運搬車により、残土の運搬作業中、工事用に作られた作業用通路から、不整地運搬車とともに斜面を転落した。	30106	1	10 ～ 29
2004	10	14 ～ 15	クローラダンプで下り坂を走行中、左カーブを曲がり切れず、クローラダンプとともに、約12m下の沢に転落した。	60201	1	10 ～ 29

2004	4	8 ～ 9	土地区画整理工事現場において不整地運搬車の運行経路上で盛土を掘削する ための目印となる水糸を巻き取っていたところ、後方から近づいてきた 不整地運搬車のクローラにひかれた。	30109	6	30 ～ 49
2003	12	9 ～ 10	農業水路改良工事で、水路内土砂等を搬出するため水路内を土砂等を積ん だ不整地運搬車で走行中に、コンクリート橋と不整地運搬車の荷台との間 にはさまれた。	30107	7	10 ～ 29
2003	10	8 ～ 9	治山工事で、不整地運搬車により掘削土砂を捨土場所に運搬作業中、林道 と工事用仮設道路の丁字路交差点付近の路肩から斜面を約40m転落し、 下部走行体の下敷きとなった。	30108	1	30 ～ 49
2003	3	11 ～ 12	水源地の地下水位観測機器の撤去のため、不整地運搬車（ホイール駆動 式、最大積載質量1.5t）の荷台に関係機材を積んで撤去作業場所まで柔泥 の傾斜通路を後進で移動中、滑落して車の下敷きになった。	30201	7	1 ～ 9
2003	1	16 ～ 17	積載荷重2tの不整地運搬車のエンジンをかけたままその周りで作業をして いたときに、不整地運搬車が動き出して不整地運搬車で胴体をひかれた。	30199	7	1 ～ 9
2002	11	14 ～ 15	農業用水路内の清掃作業に使用した不整地運搬車（最大積載量850 k g） を撤収するため後進しているときに、後方の水路横断管（鋼管製・直径 35 c m）に運転席が激突し、運転席前方の荷台と前傾した座席との間に 挟まれた。	150109	7	10 ～ 29
2002	10	11 ～ 12	ロジトイレの水洗化工事に伴う便槽の設置工事において、不整地運搬車 （最大積載荷重990kg）の運転者が土砂を積むために静止していたバック ホーのバケットに後部から衝突され、胸部をバケットと不整地運搬車座席 前部との間に挟まれた。	30203	3	1 ～ 9
2002	8	9 ～ 10	小規模水道施設工事において、ヒューム管の設置箇所に敷き詰める栗石を 不整地運搬車に積んで作業道（平均こう配20度）を後進で下っていたと きに、路肩より約3m下へ墜落し不整地運搬車の下敷きになった。	30199	1	10 ～ 29
		9	地滑り対策工事において、グリ石を約50m先の作業場まで不整地運搬車			10

2002	7	～ 10	(積載荷重3t)で運搬し、空荷で傾斜角32度の斜面を前進で下っていたときに、前方に一回転したため運転者が頭部を不整地運搬車と地面との間に挟まれた。	30108	1	～ 29
2002	4	～ 16	農家の共有道をコンクリートで補修する作業中、コンクリートを積んだ最大積載量が1.2tの不整地運搬車で共有道から進入路(幅1.8m)へ進入した直後に、進入路から1.4m下の田へ転落しその下敷きになった。	30199	1	～ 49
2002	2	11 ～ 12	農業用排水路築造工事において、昼休みで施工箇所から現場事務所兼休憩所へ戻るため、不整地運搬車(最大積載量4t)の荷台の最後部に立って乗車して移動していたところ、左カーブを曲がった時に高さ1.12mの荷台上から地面へ転落した。	30199	1	1 ～ 9
2002	2	～ 16	遊歩道の整備工事において、残土を不整地運搬車で搬送中(推定時速:8km)に路肩から約5m下に転落し、不整地運搬車から投げ出されてキャタピラと地面との間に頭を挟まれた。	30109	1	1 ～ 9
2001	12	～ 17	農地区画整理工事において、不整地運搬車(最大積載荷重2.5t)に石材を積載して現場内の運搬作業を行っていたときに、不整地運搬車ごと約17mの下の崖下に転落し、下敷きになった。	30199	1	1 ～ 9
2001	12	0 ～ 1	不整地運搬車で農道から川へ移動しようとしたときに、不整地運搬車が土手でバランスを崩し転落した。	30107	1	1 ～ 9
2001	11	11 ～ 12	農道改良工事において、掘削土を不整地運搬車で工事箇所に運搬するため幅3.3m、勾配13°の下り坂を走行中、路肩を踏み外して21.8m下に転落した。	30106	1	10 ～ 29
2001	4	～ 17	地滑り対策工事において、U字溝の敷設作業を行っていたところにて碎石を運搬中の不整地運搬車の運転を誤り、傾斜角約60度の法面に乗り上げて横転して投げ出され、下敷きになった。	30108	2	1 ～ 9
2000	2	13 ～	工事現場において、2.5tの不整地運搬車で碎石を床掘りした場所に降ろすため、同僚に碎石を降ろす旨を伝えて荷台をダンプさせようとしたところ	30199	1	10 ～

		14	ろ、不整地運搬車が後退して床掘りした穴に転落し、そのはずみで投げ出されて約30m下に転落した。			29
2000	12	8 ～ 9	河川災害復旧工事現場に通じる農道上において不整地運搬車の修理中に、荷台が降下したため荷台と車体との間に挟まれた。	80409	7	1 ～ 9
2000	11	16 ～ 17	不整地運搬車で土石を運搬中、作業道を外れて田んぼの土手に乗り上げたため不整地運搬車が横転し、土石の下敷きになった。	30199	2	30 ～ 49
1999	10	10 ～ 11	墓の納骨室築造で階段を築造するため材料である大谷石を積み込むための不整地運搬車をバックで運転中に、墓地外柵と不整地運搬車の間にはさまれた。	30199	7	1 ～ 9
1999	7	14 ～ 15	不整地運搬車(4. 3t)で農道(幅・約4m、勾配・約12度)を下っている途中で一旦停車し、打合せ終了後に再発進させたところ、運搬車が左方向に動き始めたので方向転換・停車を試みたが操作レバーが動かず、農道の側で後片付け作業をしていた者に接触した。	30108	6	1 ～ 9
1999	6	16 ～ 17	土止め材として使用するグリ石1. 6tを積載した不整地運搬車を山のふもとから土止め障壁を施工する現場まで運転していて途中の切り返し地点で後進させた時に後方の風倒木に激突した。	30199	3	30 ～ 49
1999	4	16 ～ 17	橋脚建設工事現場において、橋台箇所の掘削した土石を約70m離れた作業用道路に不整地運搬車で運搬するため、バックで始動した直後に、停車していた付近の路肩から約8m下の谷川に不整地運搬車とともに転落した。	30199	1	50 ～ 99
1999	4	9 ～ 10	既設林道の拡幅工事を行っていたところ、大きな転石が出てきたのでブレーカーが必要となり、それを搬入する場所を確保するため不整地運搬車を運転し、左旋回したときに路肩から約30m墜落し、その下敷きになった。	60209	1	10 ～ 29
		11	森林公園遊歩道の災害復旧工事において、不整地運搬車で土砂を積載して			10

1999	4	～ 12	走行中、遊歩道の路肩から不整地運搬車とともに池に転落し水死した。	30109	1	～ 29
1999	3	～ 10	不整地運搬車にチップ原木を約3.5立方m積載し、幅2.7m勾配約20度の林内作業道を土場へ向けて下っているときに、前日の降雨によるぬかるみで不整地運搬車がスリップし緩い右カーブを曲がれず作業道路肩より横	60201	6	～ 29
		10 11	転したので、運転席より逃げたが、そこに不整地運搬車の荷が落ちてきて荷の下敷きとなった。			
1999	3	～ 11	不整地運搬車(最大積載量2.5トン)で砂利を運搬中、運転を誤り林道から約5m下に転落し、車外に放り出された。	30106	1	1 ～ 9
1999	2	～ 14	ほ場整備工事現場において、不整地運搬車が勾配約8度～2度の作業道を登っていたときに、作業道より約8.4m下に車と共に転落した。	30109	1	1 ～ 9
1999	2	～ 16	工事のコンサルタント業務を終了して工事現場内をライトバンに乗って走行中、現場で作業していた45トンダンプトラックがバックしてきて激突され、ライトバンに乗っていた2名は押しつぶされて1名が即死し1名が負傷した。	170209	6	1 ～ 9
1999	2	～ 16	圃場整備工事現場において、不整地運搬車の走行路付近で排水用のホースを伸ばす作業を行っていて、掘削土を積んで後進してきた不整地運搬車に上半身をひかれた。	30199	7	1 ～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_02.html